

## 腹腔鏡手術と癌の治療について

当院では泌尿器腹腔鏡認定医が2名在籍しており、腎臓癌、腎盂尿管癌、前立腺癌、膀胱癌に対して腹腔鏡手術を施行しております。

腹腔鏡手術のメリットは開腹手術に比べて傷を小さくできること、出血を少なくできること、術後の回復が早いことがあげられます。また腎臓や前立腺などの臓器は奥深いところにあるため、開腹手術では傷が大きくなったり、手術の際も術者しか術野が見えないことがしばしばありましたが、腹腔鏡手術では手術に携わるスタッフ全員が拡大された術野をモニターで確認できるので、より正確で丁寧な手術が可能になります。

### 腎臓の癌

病状にもよりますが腎臓癌、腎盂尿管癌に対しては、日本国内において腹腔鏡手術が標準的に行われています。当院でも2012年度より腹腔鏡の手術を導入しています。サイズの小さな腎臓癌に対しての腹腔鏡下での部分切除術も施行しています。進行・転移した癌に対しては抗がん剤（分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬）の治療も行っています。

### 前立腺癌

前立腺癌に対しては2013年度より腹腔鏡での手術を導入しており、腹腔鏡下前立腺全摘除術の施設基準を満たしています。手術のほかホルモン治療、新規抗癌剤による治療、放射線療法（放射線科に紹介）なども行っています。

### 膀胱癌

表在性膀胱癌に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術、術直後の抗がん剤膀胱内注入や、外来でのBCG膀胱内注入療法などを施行しています。浸潤性膀胱癌に対しては膀胱全摘除術、抗がん剤治療、放射線治療などを行っています。膀胱全摘術についても一部腹腔鏡手術で施行しています。

### 精巣癌

精巣癌に対しては精巣摘除術、抗癌剤治療、後腹膜リンパ節郭清などを行っています。